

国東町

おもちゃがあったよ!! 弥生のムラ「端午の節句」



5月5日(月)のこどもの日に、弥生のムラ「安国寺集落遺跡公園」で、恒例の「端午の節句」の催しが行われました。

「弥生のムラから初誕生」と題して、2歳未満の子どもを対象に、子どもの健やかな成長を願う「もちふみ・もちかるい」「物えらび」「泣き相撲」など、国東地方の昔ながらの行事が再現され、愛らしい子どもたちの姿に会場は終始和やかな雰囲気に包まれていました。

また、会場では古代勾玉作り、火おこし、弓矢による狩猟を体験するコーナーも設けられ、大勢の家族連れでにぎわいました。

国東町

看板に 偽りはありません

4月29日(火)国東町浜で、観光看板の設置を行いました。この日は、国東市観光協会の中田博之会長、開発整備委員会のメンバー(瀧口公明委員長)と施工業者の皆さんが看板の方向や位置を決めました。同協会の開発整備委員会は、各地の観光看板を見てまわり、湯平温泉と黒川温泉の看板を参考にしました。観光施設を表示する文字は特徴のある手書きの文字とし、国東らしい素朴さを感じるよう演出しています。

なお、今回は市内8ヵ所に設置しましたが、今年度も整備を行うことにしています。



安岐町

両子の農地は両子で守ろう! 集落営農組織「ふたご営農組合」が設立



安岐町両子地区の農家54戸で構成する、集落営農組織「ふたご営農組合」が発足しました。市内では、今年に入って赤根営農組合(野口士美組合長)、千灯「結い」協同組合(芹川利雄組合長、いずれも国見町)について3番目の設立となります。

5月18日(日)、両子集落センターで開催された設立総会には、関係者約50人が参加。今後の事業計画等について協議し、組合長に田辺正秀さんを選出しました。

今後は、農地の維持・管理を行いながら、高齢化が進み増加が予想される耕作放棄に対応するとともに、水稻を中心に農作業受託を行い、農業機械の共同化による生産コストの低減を図りながら、効率的な農業経営を目指します。